

2021年度 恵愛会 事業報告

1. はじめに

2021年度は、新たに青木善治理事長が就任し、これまで以上に聖隷福祉事業団との連携を強化するため、理事・評議員体制が見直された。新型コロナウイルス感染症の再拡大、医師体制の変更など、厳しい病院運営・経営を迫られる中、“地域に貢献できる医療を目指す”という理念に立ち返り、「経営基盤の安定化、医師体制の充実、地域包括ケア病床・在宅事業の充実、透析・健診事業の拡大」を重点目標に掲げ取り組んだ。

新型コロナウイルス感染症への対応では、職員一丸となって院内の感染対策に取り組むとともに、発熱外来や自費PCR検査の実施、ワクチン接種の運営などに取り組んだ。この1年、日常生活において多くの我慢をしながら日々の業務に従事してくれた全職員に感謝したい。

医師体制においては、昨年度より2名少ない状態でのスタートであったが、10月に内科医師1名を採用、また、関連法人である聖隷浜松病院の支援をいただき、内科二次救急の応援、整形外科の脊椎・下肢関節手術、眼科の白内障手術が可能な体制・環境を整備し、診療体制の拡充を図った。まだまだ医師体制は充足されているとは言えず、引き続き医師確保を最優先課題として取り組み、患者様は勿論のこと、職員が安心して働ける環境づくりに努めていきたい。

健診事業においては、各種健診の受入体制を整備し受入枠を増枠した。また、聖隷保健事業部が実施する富士・富士宮地域の巡回バス健診への参画、関連法人共通の新健診システムの導入準備、予約業務の一部を聖隷保健事業部の予約センターへ集約するなど、法人間の連携が更に強化された。

在宅事業においては、在宅医療に求められる役割が多様化する中、地域ニーズに対応していくためには更なる経営・運営の効率化が必要と考え、「訪問看護ステーションかみや」を「訪問看護ステーションけいあい」へ統合した。今後も、ご利用者が安心してこの地域で住み生活が続けられるよう取り組んでいく。

2022年度は医師体制の充実を図るとともに、医療・健診・在宅事業それぞれで更なる機能の充実を図り、各事業が効果的に連携できる仕組みを検討していく。そして、地域から期待され、ニーズに応えられるような法人を目指し、職員一丸となって取り組んでく。

※各事業別の主な経営成績は以下の通りである。

項目	予算	実績	対予算	対前年
医業収益	4,871,966千円	4,747,728千円	97.4%	106.6%
病院	4,701,326千円	4,563,483千円	97.1%	106.2%
在宅	170,640千円	184,244千円	108.0%	117.4%
医業費用	4,765,357千円	4,785,995千円	100.4%	103.3%
病院	4,599,104千円	4,625,022千円	100.6%	103.4%
在宅	166,253千円	160,973千円	96.8%	101.1%
経常利益	123,879千円	25,416千円	20.5%	—
病院	119,492千円	1,735千円	1.5%	—
在宅	4,387千円	23,681千円	539.8%	—
当期純利益	123,809千円	24,773千円	20.0%	29.5%
病院	119,422千円	1,122千円	0.9%	1.3%
在宅	4,387千円	23,651千円	539.1%	—

2. 聖隷富士病院

2021年度は地域全体で新型コロナウイルス感染症の対応に取り組んだ一年であった。具体的には、院内感染対策を徹底するとともに、発熱外来の運営や新型コロナ回復患者受入病床の整備を図った。また、自費PCR検査の実施、行政と連携した個別ワクチン接種や企業が運営する職域ワクチン接種への専門職の派遣など、地域から期待される役割を果たすことができた。

課題であった医師体制においては、内科常勤医師の採用や大学医局との連携強化による非常勤医師体制の拡充、関連法人である聖隷浜松病院の支援をいただき、内科二次救急当直の応援や整形外科の脊椎・下肢関節手術、眼科の白内障手術が可能な体制・環境を整備した。

重点事業に掲げていた透析機能の充実では、シャント造設やPTA（経皮的血管形成術）治療体制、透析送迎車両の増車、ベッド数の拡大など受入体制・環境を整備した。また、当院で行う透析治療をより多くの方に知っていただけるよう、ホームページやパンフレットをリニューアルし、医療圏内外の医療機関・施設へ幅広く周知した。健診事業では、新たに人間ドックができる体制を整備するとともに、新規事業所の契約拡大、脳ドックや特定・法定健診の受入枠を拡大し、利用者の拡大を図った。また、聖隷保健事業部が実施する富士・富士宮地域の巡回バス健診へ事務・専門職員を派遣する新たな取組みを開始するとともに、2022年度には共通した新健診システムの稼働、予約センター業務の一部を聖隷保健事業部へ集約するなど、法人間の連携は更に強化されている。

2022年度は、今後当院が進むべき道、目指すべき姿を明確にし、その目標に向かって一步踏み出す年としたい。病院理念である“人と人とのつながりを大切にし、地域に貢献できる医療を目指して”地域の皆様が安心安全に医療を受けられる病院であるよう、職員一丸となって取り組んでいく。

1. 事業継続可能な病院経営の改善

- ・ 聖隷浜松病院による診療支援開始（内科二次救急当直、整形脊椎・下肢関節、眼科）
- ・ 内科常勤医師1名採用
- ・ 新型コロナワクチン対応事業への参画（個別・職域ワクチン接種、自費PCR検査）
- ・ 新規施設基準の取得（夜間100対1急性期看護補助体制加算、夜間看護体制加算）
- ・ 健診-病院の連携強化（健診からの紹介受診数 375名 対前年 +66名）
- ・ 委託、保守、保育園運営費等の見直し、後発薬品への切替（対前年 ▲29,970千円）

2. 地域ニーズに応じた病院機能の整備

- ・ 透析センター機能の充実
 - ・ ◆透析延回数：対前年 +1,684回、◆シャント増設・PTA：対前年 +114件、◆シャントエコー：対前年 +113件、◆ベッド稼働数：32→38床
- ・ 健診センター機能の充実
 - ・ ◆人間ドック：対前年 +96名、◆協会けんぽ：対前年 +241名、◆法定健診：対前年 +239名、◆脳ドック：対前年 +8名、◆特定健診：対前年 +22名、◆特保・健康相談：対前年 +203
- ・ 職員健診の自主運営
- ・ 富士/富士宮市住民健診への職員派遣（延べ派遣数 193名）
- ・ 自費PCR検査の実施（194件）

- ・紹介患者の受入体制の整備（紹介患者件数：対前年 +413 件）
- ・CT/MRI の有効活用（CT：対前年 +661 件、MRI +427 件）
- ・地域からの入院受入強化（転院：対前年 +30 名、レスパイト：対前年 +9 名）
- ・認知症、せん妄患者の対応（認知症ケア加算：対前年 +88 件、せん妄ハイリスク患者ケア加算：対前年 +285 件）
- ・「訪問看護ステーションかみや」を「訪問看護ステーションけいあい」へ事業統合
- ・在宅-病院の連携強化（在宅からの紹介件数：対前年 +20 件）
- ・医療機器の整備・更新（オンライン透析装置、CT 装置）

3. みんながいきいきと働ける職場づくり

- ・聖隷浜松病院救急医師による内科二次救急当直応援（医師負担軽減）
- ・全職種協働による病院経営（経営会議を月次で開催）
- ・聖隷福祉事業団、芙蓉協会との連携（職員出向、応援体制、合同研修）
- ・専門資格の取得、外部研修への参加
- ・ストレスチェック、職員満足度調査の実施

4. 安全・安心な医療・サービスの提供

- ・医療安全管理マニュアルの改訂
- ・医療安全研修、5S 活動の実践
- ・新型コロナウイルス感染症への対応（発熱外来の運営、自費 PCR 検査の実施、新型コロナウイルス回復期病床の整備、個別ワクチン接種、職域ワクチン接種の実施）
- ・感染対策の徹底（面会制限、検温・検査体制の整備）
- ・患者相談センターの運用確立

5. 地域社会への参画・貢献

- ・個別ワクチン接種、職域ワクチン接種の実施
- ・障がい者雇用の促進（2 名採用）

〈病院〉

項目	予算	実績	対予算	対前年
外来患者数	428 名	426 名	99.5 %	108.1 %
外来単価	22,702 円	22,262 円	98.1 %	102.0 %
入院患者数	95 名	84 名	88.4 %	92.3 %
入院単価	54,100 円	57,919 円	107.1 %	108.4 %
病床稼働率	81.2 %	72.1 %	88.8 %	92.6 %
職員数	306 名	298 名	97.4 %	101.7 %

〈健診〉

項目	予算	実績	対予算	対前年
健診受診数	1,999 名	2,006 名	100.4 %	144.7 %
健診単価	18,541 円	20,471 円	110.4 %	108.7 %

※ ワクチン接種、PCR 自費検査、巡回バス健診への職員派遣は除く。

※ オプション検査のみ受診者数は除く。

3. 在宅(訪問看護ステーションけいあい、居宅介護支援事業所けいあい)

誰もが住み慣れた地域で最期まで暮らし続けるためには、地域包括ケアを担う多種多様な人材確保が不可欠とされている。当事業所も人材確保・人材育成を目的に2021年10月訪問看護ステーションけいあい・かみやの2事業所を統合した。訪問看護利用者は、利用者数月平均194名、新規依頼は月平均約12名であった。在宅看取り数は、60名を超えた。居宅介護支援の利用者は、月平均159名、新規依頼は平均6名、在宅看取りや退院後の受け入れに重点を置き、次年度の新規加算取得が可能になった。両事業とも医療ニーズの高い方・高齢者の単独世帯や夫婦、重度の認知症の方、困難事例や軽度者まで断ることなく受け入れている。

働き続けられる職場づくりと人材育成に注力し、地域の人々が医療と介護を安心して利用できるよう、取り組んでいきたい。

【在宅事業理念】

利用者が住み慣れた地域社会や在宅において、安心して安全に暮らせるよう、地域に根ざした質の高いサービスを提供します。

【2021年度重点施策】

1. 経営の安定化による事業の継続と発展
2. 地域の在宅医療・介護提供体制に寄与できる在宅機能の整備
3. 安全で質の高い在宅サービスの提供
4. 人材確保と育成の推進、労働環境の整備
5. 社会貢献への取り組み

〈訪問看護・居宅〉

項 目	予 算	実 績	対予算	対前年
介護保険 利用回数	693 件	701 件	100.1 %	124.9 %
単価	9,100 円	10,198 円	112.0 %	112.1 %
医療保険 利用回数	500 件	544 件	108.0 %	120.8 %
単価	12,758 円	10,211 円	80.0 %	95.3 %
居宅 利用回数	160 件	159 件	99.3 %	102.5 %
単価	12,500 円	13,300 円	106.4 %	96.3 %

【2021年度の主な行事】

行 事 内 容	実 施 日
新入職員オリエンテーション	4月 1日
新人防災研修	4月 2日
理事会	5月 21日、3月 14日
中堅研修(第1回～第5回、フォローアップ)	5月 27日、7月 27日、10月 16日、 11月 26日～27日、1月 28日、 3月 2日
評議員会	6月 17日
新人研修	6月 18日～19日、12月 3日
聖隷福祉事業団監査室関連法人外部監査	6月 22日
緊急連絡(安否確認)訓練	6月 24日
富士特別支援学校現場実習	7月 5日～16日
2年目研修	7月 9日
感染研修(年2回、デスクネット開催)	7月 6日～8月 06日、3月 22日 ～4月 13日
医療安全研修(年2回、デスクネット開催)	8月 24日～9月 14日、12月 14日 ～27日
勤務意向調査・職員満足度調査	8月 3日～31日
総合防災訓練(職場単位での実施)	9月
安全衛生委員会講習会(eラーニング)	9月 1日～15日
サービスの質向上委員会講習会(eラーニング)	9月 16日～30日
患者満足度調査(透析・入院)	10月(1ヶ月間)
患者満足度調査(外来)	10月 4日、7日
訪問看護ステーションけいあい・かみや統合	10月 4日
聖隷福祉事業団施設基準内部監査	10月 21日
聖隷福祉事業団監査室フォロー監査	11月 11日
消防立入検査	11月 12日
第18回院内学会(ポスター開催)	1月 13日～24日
トリアージ訓練(デスクネット開催)	1月 31日～2月 18日
新任係長実践報告	3月 31日